

【誤嚥性肺炎ゼロプロジェクト】



への取組みを開始していきます

若葉苑は、2023年4月よりクロスケアデンタル(本社:福岡市中央区大手門、CEO 瀧内博也氏/歯学博士)と提携し、正しい口腔ケアの指導のもと「誤嚥性肺炎ゼロプロジェクト」に取り組んで参ります。

【誤嚥性肺炎ゼロプロジェクトとは】

介護現場に正しい口腔ケアを届け、誤嚥性肺炎をゼロにすることを目的として2016年に設立されたプロジェクトです。クロスケアデンタルの誤嚥性肺炎の実態調査で、100人規模の施設では年間に約20%弱の入居者が肺炎を発症し、その中の多くの方が施設に戻れず死に至っていることが分かりました。このデータをもとに2017年8月から、介護施設への口腔ケアが開始されました。介護スタッフの口腔ケアによって、開始後すぐに肺炎を激減し肺炎だけでなく全ての疾患も減少し、入院日数は全施設合計で平均約50%以上も削減される結果が得られています。

先日(5/19)には、クロスケアデンタルの瀧内博也氏/歯学博士と白川智子氏/理学療法士が来苑され、このプロジェクトの第一歩となる、入所者様(83名)の、OHAT(Oral Health Assessment Tool)*歯科専門職でなくてもお口の機能をアセスメントできるように作られたスクリーニング方法をとられました。

この結果により、口腔ケアが効果的に実施できているかを確認し、プロジェクトを次のステップに進めるための課題を考察していきたいと思えます。

今後、誤嚥性肺炎ゼロ、入院日数が減少するよう、職員一丸となって取り組んで参りますので、皆様方のご理解・ご協力のほど何卒よろしくお願いいたします。

